

IKEDA THEME PARK PLAN



池田市

総合政策部政策企画課

〒563-8666 大阪府池田市城南 1-1-1  
TEL (072) 752-1111(代) FAX (072) 752-7616  
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

# 池田のまち みんなまとめて テーマパーク構想



池田市

## INDEX

愛する池田の明日の夢に向かって	2
10万人総活躍の実現とテーマパーク構想の位置づけ	3
全体イメージ	4
伏見台エリア 子ども育む輝きのテーマパーク	6
細河エリア 自然ふれあう緑のテーマパーク	8
池田エリア 魅力をめぐる彩りのテーマパーク	10
石橋エリア にぎわいあふれる交流のテーマパーク	12
テーマパーク構想実現に向けた流れ	14

豊かな自然、歴史、文化、コミュニティをはじめ、  
教育、子ども・子育て支援、地域分権制度など、  
池田にはたくさんの魅力があふれています。

魅力あふれる各エリアでは、池田を訪れた皆さまが、  
きっと池田ならではのおもてなしを体験されることでしょう。

そして、池田で暮らす皆さまにとっては、笑顔がはじけるまちの魅力を  
実感することで、もっとまちへの愛着が育まれることと思います。

池田市民の皆さまひとりひとりが主役です。

さあ、ここから新たなまちづくりが始まります！

## 愛する池田の明日の夢に向かって



平成 23 年に第 6 次池田市総合計画を策定し、「『私』が創る『地域』と育てる誇りに思えるまち」をめざして、ダイナミックかつスピーディーに各種施策を推進してまいりました。そして、更なる本市の発展に向けて、市域を一つのテーマパークに見立て、市内各地域の特色を活かした活力ある本市の中・長期的なまちづくりの展望を示す「池田のまち みんなまとめてテーマパーク構想」を策定しました。

まちづくりとテーマパークは一見結び付かないかもしれませんが。しかし、思い浮かべてください。本市には熱い思いをお持ちの市民の皆さまをはじめ、歴史、文化、伝統、教育など、他にはなくそして他に誇れるヒト・モノ・コトであふれています。各地域のヒト・モノ・コトがふれあうことで、魅力的で、そして「小さくとも世界に誇れるまち」へと発展していくと確信しています。

さあ、夢と希望にあふれるテーマパークの実現に向かって一緒に進んでいきましょう！

最後に、テーマパーク構想の策定にあたってご協力頂いた皆さまに心から感謝を申し上げます。

平成 30 年 5 月

池田市長 倉田 薫

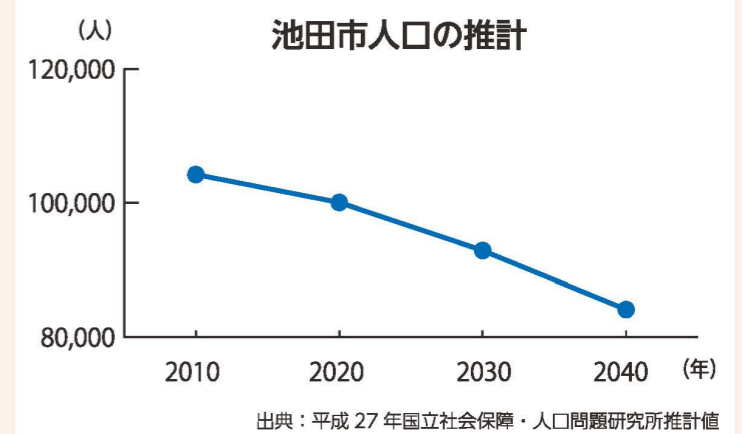
## 10 万人総活躍の実現とテーマパーク構想の位置づけ

### 1. 10 万人総活躍の実現

今後の人口減少、少子高齢化に対応するため、より多くの方が「池田に住みたい！住み続けたい！」と思うまちづくりに取り組むことが、最重要課題となっています。

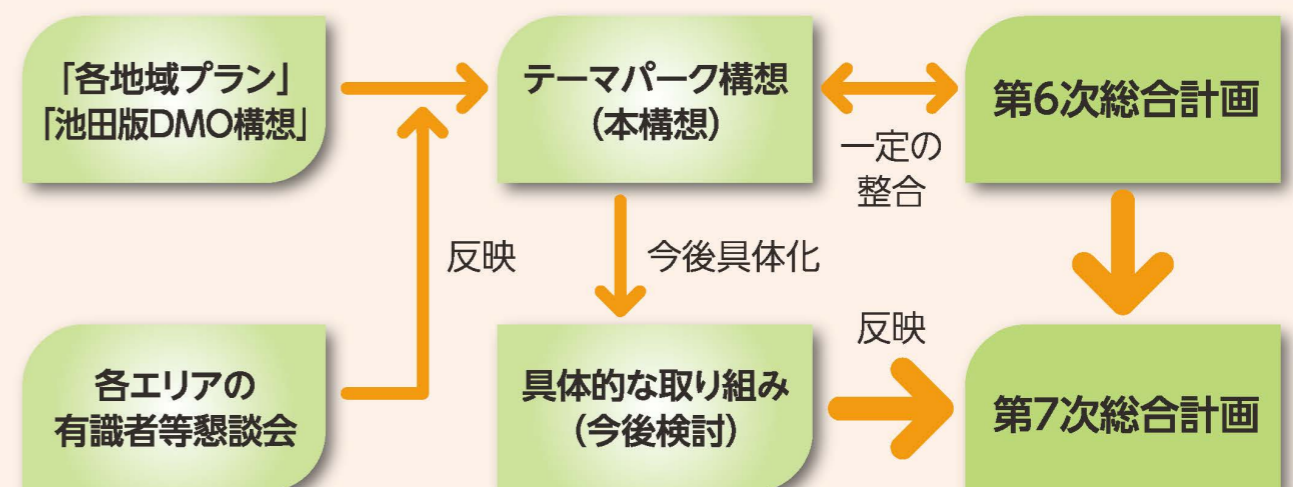
本構想では、行政だけでなく、市民や企業等が一体となって、みんなが笑顔になれるようなまちづくりに取り組むことで、「10 万人総活躍の実現」をめざします。

本市でいう 10 万人総活躍とは、市民ひとりひとりが愛する池田のために自らの力を発揮していただくものです。それぞれの地域において避けては通れない課題について、他人事ではなく、また行政頼みではなく、まさに自らのこととして、地域の方々が中心となり、そして各種団体や企業、大学なども一緒になってまちづくりを進めていく、その中であって、年齢を問わず市民ひとりひとりが楽しく、明るく、元気に様々な形で携わっていただくことを意味します。



### 2. テーマパーク構想の位置づけ

テーマパーク構想は、池田のまち全体を大きく伏尾台・細河・池田・石橋の 4 つのエリアに分けて、各エリアの 2020 年及び 2030 年に向けた地域プランや池田版 DMO 構想をベースに各エリアの方々、テーマパーク構想ディレクターの意見をもとに第 6 次総合計画と一定の整合をもって策定しました。今後の具体的な取り組みについては将来的に第 7 次総合計画に反映することを想定しています。



# 全体イメージ

## ～池田のまち みんなまとめて テーマパーク構想～

教育・子育て・植木・ウォンバット・地域リーダー・・・などなど、多様なコンテンツの全てが池田の魅力です。

そう、池田のまちが「いろいろな発見と出会い、そしてふれあいのまち」となるよう、テーマパーク構想に取り組んでいきます。

教育日本一、子ども・子育て支援日本一をめざしているよ！  
地域分権制度に基づくまちづくりも進めているよ！

子どもから高齢者までが笑顔になれるまちをめざしているよ！



**伏尾台エリア** 子ども育む 輝きのテーマパーク



P6へ

**細河エリア** 自然ふれあう 緑のテーマパーク



P8へ

**池田エリア** 魅力をめぐる 彩りのテーマパーク

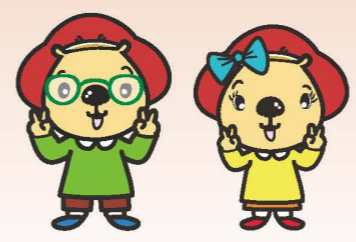
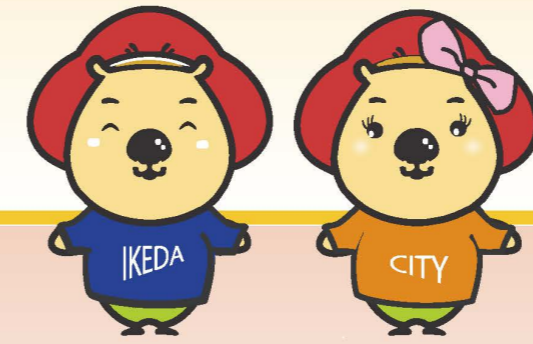
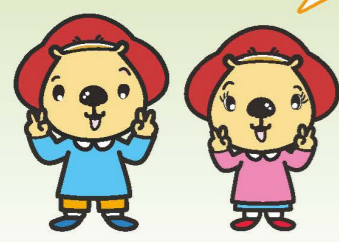


P10へ

**石橋エリア** にぎわいあふれる 交流のテーマパーク



P12へ



市の中心部から車で15分。

小高い丘の上にある住宅がたち並ぶ

伏尾台エリアでは、子どもから

シニア世代までの笑顔があふれています。

ひとりひとりが輝く新しいまちをめざして

今日も一歩先に向けた新たな挑戦を続けます。

テーマ 新たなエリア交通へ

2

むすぶ



めざす方向性

エリア内外の交通利便性向上について、2020年以降を見据えた持続的な仕組みづくりに取り組みます。テクノロジーを積極的に活用することでエリア交通のあり方の変革をめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ コミュニティバスの活用などにより、高齢者にやさしいエリア交通を構築
- ★ エリア内の無人運転車両の実用化の可能性を検討

テーマ スtock資産の活用へ

3

いかす



めざす方向性

伏尾台エリアの空き家や公園といったStock資産を面として活用します。そのために、さまざまなパートナーと繋がることでより一層魅力のあるエリアの一画となることをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ Stock資産（空き家、公園など）を活かしたにぎわいの創出
- ★ 大阪府立池田北高等学校跡地の有効活用を検討

テーマ ひとりひとりが輝く場所へ

1

はぐくむ



めざす方向性

「子育てにやさしいまち」を実現するための核となる場所「はぐくむ」をつくります。「はぐくむ」は、地域コミュニティが一体となって、次世代を担う子どもたちを育む場所となり、子どもだけでなくシニア世代のひとりひとりが輝く場所をめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 子どもからシニア世代までが集える憩いの場所として、「はぐくむ」を整備
- ★ みんなが笑顔で楽しめるコミュニティカフェやプレイパークなどを展開

テーマ 教育日本一を牽引するまちへ

4

まなぶ



めざす方向性

教育日本一を掲げる本市の小中一貫教育をリードするほそごう学園。本市唯一のコミュニティ・スクール、義務教育学校として、さまざまな教育施策を展開し、教育日本一を牽引するような魅力ある学校づくりを進めます。

実現に向けた取り組み

- ★ 「ほそごう学園」の教育と地域コミュニティとのコラボレーション
- ★ まちづくりへの想いと教育を融合させる取り組みの推進
- ★ 公設民営のフリースクールとの連携により、ひとりひとりにあった教育環境を提供



自然豊かな細河エリアは、  
人びとの憩いのオアシスへ。  
伝統ある植木をはじめとする  
緑と余野川のせせらぎは、  
自然との共生を  
引き立てる癒しになるでしょう。



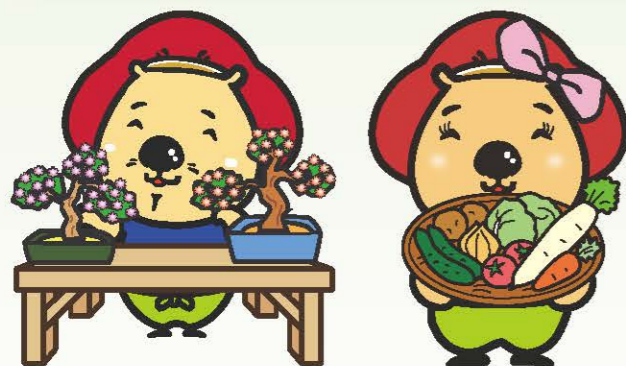
テーマ 1 細河の新たな1ページへ  
つくる

めざす方向性

細河の植木とアートをコラボレーションすることで、細河エリア活性化の起爆剤となり、歴史ある細河の植木産業の新たな1ページとなることをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 植木等の自然環境とアートをコラボレーションするイベントを開催
- ★ 市民とアーティストの交流による地域コミュニティの活性化



テーマ 2 細河の再起点となる場所へ  
うまれかわる

めざす方向性

新名神高速道路の開通により交通の利便性が高まる細河エリア。立地のメリットを活かし、乱開発・不法投棄を防ぎつつ、自然環境・景観や農業との調和を図りながら、土地利用の推進や緑をコンセプトとした憩いとにぎわいの場所の構築を検討し、エリアの象徴をめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 交通の要衝の利点を活かした企業の立地誘導などによるエリア活性化を推進
- ★ 特産の植木や園芸技術を活かした、緑のモール構想の検討

テーマ 3 テーマパークの素材へ  
はばたく

めざす方向性

日本の4大植木産地のひとつ、細河。細河エリアだけでなく、その他のエリアにおいて、「植木のまち」を象徴する素材として活用することにより、細河の植木が全国、ひいては海外にもはばたくことをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 細河の植木を様々な機会に活用することにより植木のまちをPR
- ★ 細河の自然環境を用いた新たな里山での取り組みを検討

テーマ 4 細河エリアを要へ  
つなぐ

めざす方向性

交通の要衝となることがますます期待される細河エリアにおいて、遊休地や小学校跡地を活用し、にぎわいだけでなく、教育、防災など幅広い分野で要となることをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 地産地消など細河エリアの素材を活かした新学校給食センターの整備
- ★ 細河小学校跡地を活用した市民の防災力の向上・拠点整備

池田エリアには、  
たくさんの、そしてさまざまな  
ハッピーが点在します。  
その中を、歩いてめぐること  
で、たのしみ、あじわい、ふれあう。  
訪れた人みんなが笑顔になれる、  
また訪れたいくなるまちへ。



テーマ 1 ようこそハッピー感じるまちへ  
みつける

めざす方向性

池田エリアは歩いて回ると数多くのハッピーが見つかります。起点となる大阪池田ゲストインフォメーションを訪れた人が「今日はどこに行こうかワクワクする」そんなハッピーを見つけるキッカケをつくりだします。

実現に向けた取り組み

- ★ 池田版 DMO を中心に、ハッピーファクトリーの起点となるおもてなしの展開
- ★ 大阪池田ゲストインフォメーションを起点に、池田駅周辺をテーマパークの入り口へ

テーマ 2 笑顔でにぎわう商いへ  
わらう

めざす方向性

多様なテーマを活かした工夫のある取り組みにより、市民との距離が近く、笑いの絶えない商店の集うエリアをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 商店街を盛り上げる次世代リーダーを発掘・育成
- ★ 産官学とのコラボレーション

テーマ 3 池田のシンボル五月山へ  
あふれる

めざす方向性

テーマパークの入り口から視界に広がる五月山。広場や景色、ウォンパットなどに加え、何度でも訪れたいくなるハッピーをさらに数多く取り揃えることをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ ウォンパットを活かしたプロモーションを展開
- ★ 五月山全体をマネジメントすることで、より多くの人を呼び込む新たなハッピースポットとして生まれ変わることを検討

テーマ 4 テーマパークの進化へ  
わくわくする

めざす方向性

池田エリアの中心に位置する池田駅。周辺をテーマパークの入口にふさわしい、だれもが集い・楽しめる、魅力的で快適な空間にリニューアルすることをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 駅南エリアにみんなが楽しめる憩いの場を設置
- ★ 駅周辺の再開発に向けた検討



駅を降りるとすぐそこは  
商店街が広がる日本でも珍しいまち。  
子育て世代や学生も行き交い、  
レトロな雰囲気が相まって、  
どこか「ほっとした」あたたかさを感じます。  
また、空港からもほど近く、  
「文化、世代、性別を超えた交流が広がるエリア」。  
それが石橋のめざす姿です。



・ターミナルビルが新しくなるよ!  
・近距離国際線の復活をめざすよ!

テーマ 2 情熱が集うステージへ  
まじわる

めざす方向性

石橋には、情熱あふれるリーダーがたくさんいます。子育て世代や学生、シニアなど多くの人が集い、交流する空間をつくることで、地域のコミュニティが活性化され、多様なコラボレーションを繰り返すことで、石橋エリアがにぎわいつづけることをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 情熱を持った次世代リーダーを発掘・育成
- ★ 産官学とのコラボレーション

テーマ 1 レトロな景観へ  
ほっとする

めざす方向性

数多くの店舗が軒を連ねる石橋駅前には、どこか昭和の雰囲気が漂う活気と人情があります。これからもレトロな空間づくりをすすめて「ほっとする」まちをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 駅周辺をレトロな雰囲気へ美装化
- ★ レトロを演出する空間や商品などの創出を検討

つながる



スポーツセンターの整備も検討するよ!

テーマ 3 スマートなにぎわいへ  
つながる

めざす方向性

若者が多く集う石橋エリア。先端のテクノロジーに対する受容性が高い石橋地域で、ICTを活用し、あらゆるヒト・モノ・コトをつなぎます。

実現に向けた取り組み

- ★ 石橋の魅力を高めるためのICT環境の整備
- ★ ICTを活用したアプリの開発やPR戦略など新たな取り組みを検討

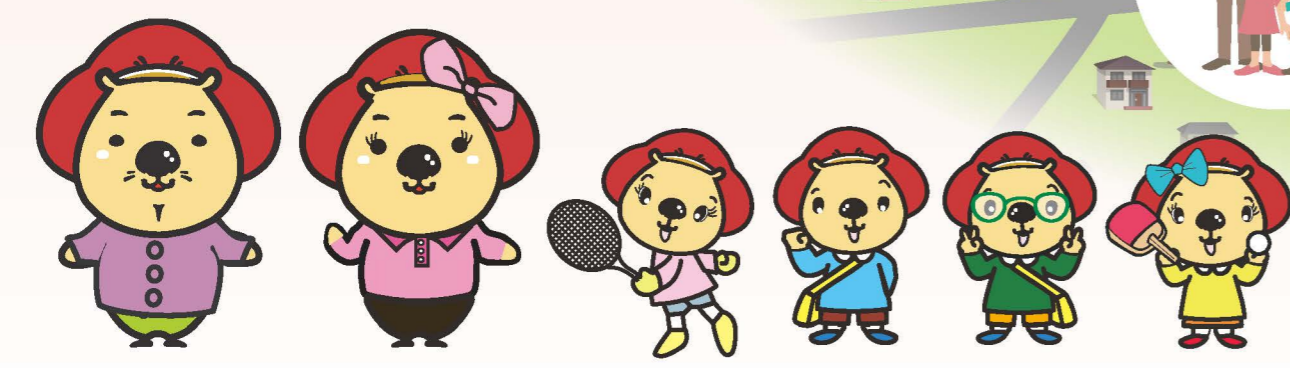
テーマ 4 情熱の灯へ  
つどう

めざす方向性

石橋エリアに集うシニアや子育て世代をはじめ、地域住民が安心して利用することができ、交流できる空間をつくることで、いきいきと輝く場のひとつとなることをめざします。

実現に向けた取り組み

- ★ 子育て世代をはじめとした多世代交流としてのコミュニティ活性化の拠点を整備
- ★ 産官学連携によるシニアなどがふれあう場として敬老の里構想を検討





**伏尾台  
有識者等懇談会**  
1回目：2017年7月28日  
2回目：2017年10月16日  
3回目：2017年11月13日  
(全3回)

**細河  
有識者等懇談会**  
1回目：2017年7月25日  
2回目：2017年10月3日  
3回目：2017年11月27日  
(全3回)

**池田  
有識者等懇談会**  
1回目：2017年7月26日  
2回目：2017年10月19日  
3回目：2017年11月29日  
(全3回)

**石橋  
有識者等懇談会**  
1回目：2017年8月2日  
2回目：2017年10月2日  
3回目：2017年11月20日  
(全3回)

**伏尾台  
創生プラン  
2020**  
(2016年3月策定)

**細河  
未来夢プラン  
2030**  
(2016年3月策定)

**池田版  
DMO構想**

**石橋  
未来夢プラン  
2030**  
(2016年3月策定)

**各地域プラン**

**テーマパーク  
構想策定**

**各種取り組み  
の実行**

**2030年  
テーマパーク実現**

**更なる取り組み  
の実行**

**2040年**

**2050年  
更なるテーマパークに向けて**

▶テーマパーク構想ディレクター



- 後藤 健太氏  
(関西大学経済学部教授・副学部長)
- 河内 厚郎氏  
(文化プロデューサー)
- 安藤 徳隆氏  
(日清食品㈱代表取締役社長)
- 菊池 辰也氏  
(ビジネスクリエイター)
- 西畠 清順氏  
(プラントハンター)
- 堀内 健二氏  
(彫刻家)
- 堀 登志子氏  
(商業活性化アドバイザー)